

# 伊勢協組ら 1DPを試験施工 累計実績4万5千㎡に

伊勢生コンクリート協同組合（三重県伊勢市、石川周平理事長）、全国生コンクリート工業組合連合会からは9日、伊勢市内で1DPA

YPAVE（早期交通開放型コンクリート舗装）の施工見学会を開いた。生コン関係者や発注者、施工者ら約10名が参加した。

あいさつにたった石

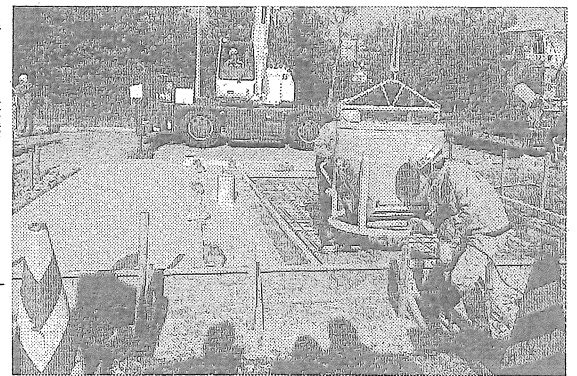
川理事長は「全生連をはじめ、各団体から多



石川理事長

くの協力を得て見学会が開催できた。まずは施工を見てもらい、その後、生コンクリート舗装に関する知識を深めてもらいたい」と述べた。

太平洋セメント中部北陸支店の諸角富美男支店長は1DPの累計施工面積が約4万5千㎡と、東京ドームとほぼ同じ広さになったと紹介し、「1DPがセメント・生コン需要を喚



バケット打ちで人力施工

5N/mm<sup>2</sup>のスランプ18cm、粗骨材の最大寸法は25mm、水セメント比は34・9%で、セメントは早強を使った。生コンはクレーンで吊るしたバ

ケットを用いて人力施工した。施工面積は約18㎡。

前日に隣接地で同規模の面積を施工しており、見学者はコンクリート版に載って性能

## 三重工組 1DPパンフ作成

三重県生コンクリート工業組合はこのほど、1DAYPAVE（早期交通開放型コン

クリート舗装）のPRパンフレットを作成した。

パンフレットは若手経営者らを中心とする工組の広報委員会が作成した。同委員会は今年度の重点課題として1DPのPR用パンフレットの作成、1DP施工見学会の開催、過

積載防止の3つを掲げている。

パンフレットでは、同工組がこれまでに実施した1DP施工見学会の写真や、舗装としての特徴が解説されている。また2015年に同工組が1DPを寄附した三重県身体障害者総合福祉センターの小山富弘管理部長のインタビューを掲載した。

などを確認した。研修会では、太平洋セメントの上田宣人氏が「コンクリート舗装の特徴と最新の技術」の題で講演した。



コンクリート舗装

1DAY PAVE

三重県生コンクリート工業組合